

# 会 議 録

## 1 会議名

平成 30 年度第 10 回春日区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 報告事項（公開）

①地域活動支援事業（追加募集）の採点結果について

②会長会議の概要について

### (2) 協議事項（公開）

①春日地区町内会長との情報交換会について

②自主的審議事項について

## 3 開催日時

平成 30 年 11 月 30 日（金）午後 6 時 30 分から午後 9 時まで

## 4 開催場所

上越市市民プラザ 第 2 会議室

## 5 傍聴人の数

なし

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・ 委 員：今井 孝、大竹明德（副会長）、金子隆一、田沢 浩、谷 健一、野澤武憲  
橋本桂子、藤田晴子、星野 剛、松田光代、吉田幸造（会長）、鷺澤和省  
（欠席 8 人）

・ 事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、野口係長、田中主事

## 8 発言の内容（要旨）

### 【野口係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、成立を報告

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

**【吉田会長】**

- ・会議録の確認：星野委員に依頼

次第「2 議題（1）報告事項」の「①地域活動支援事業（追加募集）の採点結果について」に入る。先般の会議にて決定した採点結果について事務局より報告を求める。

**【野口係長】**

- ・資料1により説明

**【吉田会長】**

今の説明に質問のある委員は挙手の上発言願う。

**【鷺澤委員】**

「春-追1」の補助額20万円が返納された理由は、減額して採択され事業の実施が困難なためとの説明であったが、理由はそれだけなのか。「春-追1」はゼロ採択でも良かったが20万円を配分した。返金されるのであれば、他の必要としている事業に配分することも可能であった。それなのに活用することが出来ずに全額市に返納したということは、今後の地域活動支援事業の配分をする上で大きな課題になると考える。申請の段階で減額採択では実施が困難か否かを事前に確認し、配分を検討する必要があると思う。

**【野口係長】**

今回、事業取下げとの文書が届いた団体については、減額採択では自己資金の工面が困難であり、事業遂行が出来ないため取り下げたいとのことであった。これ以上の深い理由はなかった。つまり、単純に工事費が半分に減額されたことにより事業の実施が困難ということである。

事前に減額での実施が困難か否かの確認については、提案者によりヒアリングを実施し、その後、審査・採択しており、地域協議会が補助額が半分でも事業実施が可能と判断して減額採択したものと事務局では理解している。事務局としては地域協議会の考えとして、減額採択となったが残額は自己負担して頑張ってもらいたいとの思いがあった採択結果だと解釈している。もし、減額して採択した結果に課題があるとすれば、当事業のみではなく他の事業にも通ずる問題であるため、今後整理していったほしい。

#### 【鷺澤委員】

地域協議会は色々なことを踏まえた上で「春-追1」に20万円を配分し、他の提案事業についても全て減額採択とした。地域協議会として「春-追1」については、内定通知を辞退した団体であるということを踏まえておくべきであると考えている。

#### 【橋本委員】

「春-追1」については、採択する際も非常に協議が難航した。事業の性質上、減額採択では実施が困難になるのではないかとの意見もあった。しかし、自己負担をしても実施してほしいとの考えで決定したが、これがそもそもの問題であり提案団体に問題がある訳ではない。そのため「春-追1」に対して、「この団体は課題がある団体として見ていかなければいけない」との見方はするべきではないと思う。今後もその都度上って来る申請に対して、全て公平に地域活性化のための事業として妥当か否かを判断していくことが地域協議会委員の審査の役目であると考えている。

#### 【鷺澤委員】

地域協議会として事業内容を検討し、20万円でも一部実施できる内容があると判断して配分した。追加募集の際は、不採択となった場合は、次年度以降に再申請してほしいとの考えで実施した。今回の内容についてはどの提案団体にも言えることであり、「春-追1」については、減額採択では事業実施が難しいということを団体の特色として理解しておく必要があるということであり、差別したいと思っている訳ではない。今回のように団体の特色があったという事実を認識し、次年度の地域活動支援事業に活かしていかなければいけないと考えている。

#### 【橋本委員】

鷺澤委員の考え方としてはそれで良いと思う。自分の考え方はいま言ったとおりである。これは、地域協議会委員全体で審議・決定し、提案者は事業を見送ったというだけのことである。

#### 【谷委員】

今回の採択結果については反省点の1つであると考えている。「春-追1」については不採択にすべきと判断した委員が9名おり、点数も低かったため、不採択としても良かったようにも思う。しかし、このような状況でもこの事業を採択したこと自体を今後の反省点として活かしていかなければいけない。採択したことは地域協議会全体の責任であるため、今後反省しながら活かしていけば良いと考えている。

## 【吉田会長】

次年度の地域活動支援事業では今回と同じようなことがないように順位もよく吟味しながら決定していきたい。他に意見等はあるか。

### （発言なし）

以上で「①地域活動支援事業（追加募集）の採点結果について」を終了する。

次に、「②会長会議の概要について」に入る。事務局より概要の報告を求める。

## 【野口係長】

地域協議会会長会議の概要について説明する。地域活動支援事業の見直しにかかる会議当日の配布資料を事務局にて一部加工し本日配布した。資料説明に入る前に、結論を報告するが、結論としては、全市的な統一的なルールの作成は行わないこととした。その理由としては、各自治区から見直しに関する様々な意見や提案が出たが、市では課題解決の方向性を見解や案として示すに留めた。つまり、制度としての拘束力は持たせず、あくまでも各自治区にあった制度設計でこれまで通り各自治区で利用しやすい見直しを行うこととした。この根底には、自治区ごとにルールの違いがあるからこそ地域に則した補助事業であり、それらが自治区本来の姿であると考えたからである。逆に、全市統一的なルールを定めることは、自治区の裁量を狭めることになってしまい、期待する姿に反すると判断したためである。来年1月には新年度に向けた採択方針等の見直しを行う予定であるが、これまでと同様のやり方に加え、今回の全市的な見直しで春日区が活用できる部分は活用し、春日区に相応しい、更に使い勝手の良いルールとなるよう見直しを加えてほしいとの結論である。

次に、当日配布資料の資料1についてであるが、これも当日配布された資料を事務局で加工したものである。具体的な見直し方法については、基本的な考え方としては、市が直接的に一定の基準に整理、収れんすることは行わないということと、見直しの手法としては、検討の円滑化や実効性の高まりを期待するため、各区の様々な検証結果・意見に対して課題解決の考え方（例示）や市としての見解を情報提供する。

次に、検証結果に係る市の案・見解としては、次のページから詳細が記載されている。記載内容で「案」と記載されている事項については、課題解決に向けた考え方、あくまでも事例であり、各地域協議会が検討する上で結果を拘束するものではない。また、地域協議会での検討の結果、区によって提案内容の一部変更や別の方法で対応することも十二分に想定されるものである。

次に、別添資料については、春日区で検討・検証し、市からの提案・見解ともにチェックがあるものをそれぞれのページに記している。本日はテーマごとに説明することが時間的にも困難であるため割愛させていただく。

次に、資料2についてだが、事業予算額や区への配分額の積算方法などについてであり、平成30年度と同じ予定としている。なお、平成31年度については3月に開催される定例会の議決次第となるため、一部変更となる可能性もある。これらの資料については、1月の見直しの時までに一読し役立ててほしい。以上で概要報告を終了する。

**【吉田会長】**

今の説明に質問のある委員は挙手の上発言願う。

**【鷺澤委員】**

自分は会長会議を傍聴したが、会長より分科会の特色や、各区独自の取組、また春日区でも取り入れてはどうかというものがあれば報告してほしい。

**【吉田会長】**

当日は3つの班に分かれて意見交換会を行った。テーマは地域活動支援事業に関することだった。ヒアリングについては、合併前上越市の各自治区では春日区と同じように行っているが、旧町村13区では地域協議会の開催会場までが遠いため、担当者が出向き事業主より話を聞いているところもあった。次に、補助額については、配分予算額に対して、金額合わせのような決め方をしている区もあった。追加募集の際は、なおのことだ。追加募集では事業実施期間が短いため、どうしても備品購入等に当てられてしまうとの意見が他区からも出た。これは仕方ない部分もあるが、春日区ではこれに関して厳しい意見もある。今回、意見交換に参加し、他の区の意見を聞くことは大事なことであり勉強になった。春日区の採択方法は他の区に比べると正当性があるように感じた。地域活動支援事業は市の予算であるため、各区共に大事に扱おうとの考えが意見交換会を通して見て取れた。

**【田沢委員】**

今回の会長会議では、事前に意見交換会のテーマは決まっていなかったのか。その場でグループ毎にテーマを決め、テーマに沿って意見交換を行ったのか。

**【吉田会長】**

そうである。他に質問等あるか。

(発言なし)

以上で「②会長会議の概要について」を終了する。

次に、次第「2 議題 (2) 協議事項」の「①春日地区町内会長との情報交換会について」に入る。年度当初の年間スケジュールにて、9月から10月の開催を予定していたが、地域活動支援事業の追加募集等もあり開催時期が押されてしまった。去る11月7日の春日地区町内会長協議会の会合に我々正副会長が出席させてもらい、開催を打診し、日程と内容を確認した。これについて事務局より説明を求める。

#### 【野口係長】

・資料2により概要説明

正副会長より、春日地区町内会長協議会に出向き提案した資料を配布している。この資料について、大竹副会長より説明を求める。

#### 【大竹副会長】

11月7日、春日地区町内会長協議会に情報交換会の開催について打診した。春日区の福祉・観光・安全安心の3つの分科会がどのような活動をしているのか、各分科会のコンセプト等について説明をしてきた。地域協議会で行えること・行えないことがあるが、今後の地域協議会運営の参考として町内会長協議会より話を聞きたいと伝え、各町内会が直面している様々な諸問題の情報提供をお願いした。さらに、今後どのような方向で春日地区を活性化させるべきかについて、情報交換会での意見を求めた。また地域協議会での実施は難しいが、各町内会のインフラ整備について、バックアップをしたいと考えているため、各町内会の状況も確認した。次に、地域住民の地域力を高めるために郷土愛や関心をどのようにしているのか、また地域協議会委員の知らない潜在的な地域資源について、観光面も含めて情報提供をお願いした。

#### 【吉田会長】

今の説明に質問のある委員は挙手の上発言願う。

(発言なし)

「資料2」の内容のとおり開催することとし、原則全委員からの出席を願う。以上で「①春日地区町内会長との情報交換について」を終了する。

次に、今回のメインの協議事項である「②自主的審議事項について」に入る。町内会長との情報交換会の際、分科会ごとに審議の進捗状況を報告し、それらについて町内会長からの意見等を受け分科会での今後の審議に活かしていくことが狙いとなる。本日は「資料3」について分科会ごとに整理し、後程の全体会にて確認をしていく。「資

料3」の整理の仕方等について事務局より説明を求める。

**【野口係長】**

・資料3により説明

**【吉田会長】**

今の説明に質問のある委員は挙手の上発言願う。

**【鷺澤委員】**

資料3と同じ内容を以前討議し、何月頃を目途にとのことでまとめ、提出し、発表したように記憶しているが。

**【野口係長】**

以前に協議し、発表・提出してから随分と時間が経過している。その時と審議の状況も変わっていると考えるため、現状を改めてまとめ、今後のスケジュールを確認することが狙いだ。ただ、以前発表してから状況が変わっていなければ、以前提出した内容で構わない。

**【鷺澤委員】**

以前に自主的審議を行って以降、地域活動支援事業・追加募集等もあり、あまり自主的審議の時間が取れていない。そのため、以前提出したものを踏まえて内容を追加するのであれば分かるが、新たに協議したほうが良いのか。以前に自主的審議を行ってから、各分科会で協議は進んでいないと考える。

また、資料中の福祉の分科会には「高齢者」との記載が多いが、以前に発表した内容は、高齢者だけではなく子どもや地域全体の問題について発表したと記憶している。

**【野口係長】**

地域協議会以外では分科会を開催していないということか。

資料内容については、審議テーマを決定した際の「検討の視点」をそのまま転記しているため、その後審議が進み、内容が濃くなり変わっている部分もあると思うため、変更は可能である。

**【鷺澤委員】**

資料の「検討の視点」の記載は、前回の自主的審議の発表内容ではない。そのため、前回提出した資料を配布した上で、新たに審議を進めるのであれば分かる。

**【野口係長】**

他の委員はどう考えるか。

**【今井委員】**

安全安心グループについては、グループ長の吉田実委員が本日欠席のため、先週木曜日に協議の進め方について自主的に集まり打合せを行っている。そのため、予定していた流れのままで協議を進めてもらえば、自分たちのグループでは審議内容が決まっている。

確認であるが、資料3に記載のあるカレンダーについて「1月」とは「平成31年1月」で良いか。

**【野口係長】**

そうである。

**【今井委員】**

以前も同じカレンダーが記載された資料を目にした覚えはあるが、それから1年が経過している。安全安心グループでは3月に危険箇所の見回りを実施しており、実施内容も踏まえ若干内容は変わっている。変更に合わせて内容をアップグレードすることは十分に可能である。1年前の審議内容を今回の提出資料に記載したとしても、今の基準で改めて作成すれば良いだけである。各分科会では地域協議会の場合だけで審議等するのではなく、その他の場でも自主的に動いて良いと思っている。昨年度決定した内容は一旦置いておき、改めて審議してはどうか。

**【野口係長】**

もし以前、昨年1月17日の各分科会でまとめた資料が必要であれば、今、事務局でコピーして配布する。その資料には項目が月毎に分かれており、月毎に何をするかを示した資料構成である。しかし、情報交換会にて、町内会長に月毎の予定等を示しても分科会の審議の中身は全く伝わらないと考えている。そのため、分科会の中身を具体的に整理し、今後の予定を含めて出来るだけ分かり易いものを作成してほしいというのが狙いである。

**【吉田会長】**

情報交換会の際に、春日区地域協議会の分科会ではどのような活動を行い、進捗がどの程度であるかを理解してほしいと考えている。この場では、各分科会の活動に対して意見を求めることが目的の1つである。そのため、これまでの自主的審議と若干重複してしまうことも考えられるが、各分科会の状況を説明する上で、改めて資料を整理したいと考えている。

【星野委員】

では、既に終わっているものは記載せず、今後の活動予定や内容を記載するという  
ことか。

【野口係長】

そうである。

【吉田会長】

他に意見等はあるか。

(発言なし)

では、グループに分かれて整理をしていく。取りまとめたものを事務局に提出し、  
後程の全体会にてコピーを配布する。時間になったら全体会を再開する。

— 分科会 (50分) —

【吉田会長】

会議を再開する。観光のグループより発表願う。

【田沢委員】

観光グループの発表を行う。「春日山城跡の観光振興策について」、設定した4つの大  
きなテーマの実施について3つ整理した。1つ目の「謙信ロードの構築と歓迎旗の常設  
設置」は、上越インターチェンジから山麓線に交差するまでの道を「謙信ロード」と  
名付け、そこに歓迎旗を常設設置してはどうかとの案である。謙信公祭の開催期間中  
は上越市役所周辺に旗が設置されるが、祭り期間以外はほとんど何もされていない現  
状である。1年を通して謙信公を認知してもらうことが目的であり、比較的实施しやす  
いと考えている。

次に「特産土産品の企画・開発・販売」である。何か特産品の開発をしたいと考え、  
謙信の時代に有名になった青苧あおぞを使用したパン等の開発を考えている。青苧が食品と  
して有効であるということではなく、謙信公の財力に繋がったものとして認知し、偲  
んでもらうことが目的である。具体的な案としては、パンやアイスの企画・開発・販  
売を考えている。

次に「体験型観光を目指し甲冑を利用する」として、見る観光だけではなく体験型  
観光を取り入れることで観光の輪が広がると考え、甲冑を利用した観光を考えている。  
具体的には埋蔵文化財センターを拠点とし、地域活動支援事業を活用して購入した甲  
冑を団体や以前から所有している団体に声掛けをして実施していきたいと考えている。

これら全てにおいてスケジュール的には非常に厳しい状況ではあるが、何とか来年の謙信公祭までの実施を目指し活動していくべきと考えている。以上で発表を終了する。

#### 【吉田会長】

質問等については3つ全ての分科会の発表終了後とする。

次に、福祉グループより発表願う。

#### 【橋本委員】

福祉グループの発表を行う。資料をまとめる時間がなかったため、口頭での説明とする。上越エリアの中の地域内では「まちづくり振興会」という組織があると聞いている。しかし、春日区にはそのような組織が現状ではない。まちづくり振興会は商工会等の横の繋がりでもちづくりを考えイベント等を企画・実行まで行う団体である。まちづくり振興会に代わる役割の団体を春日区の中に作るべく、その中核の役割を春日区地域協議会が担ってはどうかと考えている。現在地域内にある団体や活動を繋ぎ連携させることで、世代間交流が出来る機会を作っていけるように検討している。まずは12月11日の町内会長との情報交換会の際、各町内会長に今後の協力を依頼したいと考えている。それは、今後活動するにあたり、必ず地域住民の力添えが必要となるためである。

次に、その後具体的にどのような趣旨で取り組んでいくのかについては、要請文を作成していかなければいけないと考えている。これらを想定し、福祉グループでは、例えば、青少年育成会議・子供会育成会・PTA・老人会・町内会長協議会・福祉協議会・民生委員・児童委員等の春日区内の活動団体の洗い出しを行っている。これらの団体に対して、趣旨を説明する文書を送付し、可能であれば直接の説明をしたいと考えている。参画してくれる団体が決まった後に、全体での話し合いがようやく出来る。話し合いの中で各団体から見えてくる課題出しを行い、当初より分科会のテーマとしてきた「地域にある団体を繋ぐことで世代間交流の場が作れる」との方向も視野に入れながら課題解決のための協議を進めていきたい。最終的には再来年の3月を目途に、市長へ意見書を提出出来ればと考えている。

今後のスケジュールについては地域協議会の合間を見て、分科会で決定したいと思う。来月の町内会長との情報交換会までには、今回の説明を文書にして町内会長に配布したいと考えている。

## 【吉田会長】

次に、安全安心グループより発表願う。

## 【星野委員】

安全安心グループの発表を行う。本日はグループ長が欠席のため代理で発表を行う。事前に配布した資料と合わせて説明する。安全安心グループではテーマを「ハード面」と「ソフト面」2つに分けている。

まず「ハード面」として、春日区内の危険箇所の洗い出しとして資料記載の4か所に絞っている。経過としては3月6日に分科会委員による現地視察を行った。詳細についての内容は資料に記載のとおりである。

また、先日11月22日に分科会で今後の方針等について検討し、同時に勉強会を行った。勉強会の内容については事前配布した資料のものになる。「ハード面」では「交通危険箇所・交通安全対策」に絞り、今年度春より行ってきた内容について、町内会長との情報交換会実施後の来年1月から6月までを意見書や要望書の要約をする期間として、たたき台を作成する予定である。期間を長くしている理由としては、これまでに作成した内容以外に町内会長からの意見もあると考え、これらを集約するための時間である。

その後、7月に市長への提案とし、その後この回答を11月頃までに受け、今後の検討・発展に活かしたいと考えている。地域協議会委員だけではなく、町内会長からの意見も吸い上げつつ一緒に対応していきたいと考えている。

前回の町内会長との情報交換会の際、「町内会長協議会では以前からこれらのことは行っている」との厳しい意見も聞いているため、たくさんの意見・要望を吸い上げることで、活動を充実させていきたいと思っている。

次に「ソフト面」についてである。事前配布した資料では「2 その他の審議事項」になる。①空家関係、②高齢者世帯関係、③防犯パトロールの水平展開の3つに項目に絞っている。「ソフト面」に関しては漠然としており、1年ではなかなか到達点に達することは出来ず、結果を出して終わらせることは難しいと考えている。そのため、次期の地域協議会委員へテーマとして引き継げるような資料作りを目指している。

挙げた3つの項目の中で、資料No.3に記載したスケジュールは「防犯パトロール」に絞ったものである。町内会長協議会・各団体・各組織の実施状況等の把握として、どのような団体がどのような活動をしているのか。活動している団体の現在の問題点の

把握、今後の意向等の文書での集約を1月から6月で予定している。その後、作成した文書を外に発信することで、どのような団体がどのような活動をしているのか参考資料にもなり、また各団体の今後の改善策にも繋がると考えている。これら集約した文書の発信を7月に予定している。

次に、9月と12月に実際に防犯パトロールを行っている団体の実施内容の実施見学を予定している。以上が防犯パトロールのタイムスケジュールである。その他、空家・高齢者関係については、1年を通してデータの収集、現状把握を考えており、次期地域協議会への基礎・データ作りと考えている。

また、これらに関連した勉強会や講演会の実施を1回程度したいと考えており、これについてのテーマを8月までに定め、9月には地域協議会で発案し、実施したいと考えている。9月は台風シーズンでもあるため、水害や洪水関係の講演会や勉強会はどうかとの意見が出ている。その後講演会の結果についての反省会・総括をし、年1、2回の実施を予定している町内会長との情報交換会に反映したいと考えている。平成32年の1月から3月は次年度への方針作成の期間としている。

#### 【吉田会長】

一通り発表が終了したが、他の班の内容について質問のある委員の発言を求める。

#### （発言なし）

今ほど発表した内容について町内会長との情報交換会に説明できるようお願いしたい。以上で「②自主的審議事項について」を終了する。

次に、次第「3 その他」の「(1) 次回の開催日の確認」について事務局より説明を求める。

#### 【野口係長】

- ・ 次回の協議会：1月17日（木）午後6時30分から 上越市市民プラザ 第2会議室
- ・ 内容：平成31年度地域活動支援事業に向けた採択方針等の見直し

#### ◇町内会長との情報交換会

日時：12月11日（火）午後6時30分から

会場：上越市市民プラザ 第1会議室

#### ◇地域活動フォーラムの案内

日時：12月16日（日）午後2時から

会場：リージョンプラザ上越 コンサートホール

◇新年祝賀会の申込案内

**【吉田会長】**

次に「(2) その他」について各自何かあるか。

**【鷺澤委員】**

本日の地域協議会への出席は12名であり、8名が欠席である。自分が所属する分科会では7人中3人で行った。最近このような状況が続いている。出席に関する何らかの対応を正副会長で検討してほしい。可能な限り多くの協議会委員が出席し、地域協議会の責務を果たしていきたいと考えている。

**【吉田会長】**

各自、今ほどの意見にあったような心づもりで地域協議会への出席をお願いする。本日欠席の協議会委員へは正副会長及び事務局で連絡を取りたい。

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690 (直通)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。